

滋賀大学経済学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1-1

滋賀大学経済学部後援会 発行責任者／戸田 茂

URL:<http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=31>

目次

経済学部の改革への取組について	1	ゼミナール紹介	5
学生活動	3	資格取得等報奨制度について	7
国際交流	4	報奨金給付者の声	8



経済学部長 小倉 明浩

経済学部の 改革への取組について

員の皆様に後援会会員の皆様は、常日頃より本学の運営に対し多大なご尽力・ご支援をいたしておりますこと、心より御礼申し上げます。

この『後援会だより』にこのように執筆のページをいたしていることは、ご支援をいたしている後援会会員の皆さんに大学、経済学部の現況等をお知らせする機会として有り難いものであると考えております。滋賀大学経済学部の教育活動と改革の方向を中心に報告させていただきたいと思います。

これまで本学部は、国立大学の社会科学系学士課程としては最大規模の学科構成と定員を有しており、そのことを活かして、経済学部としての専門性の基盤の上に、社会科学系の多様な分野を横断的・学際的に学ぶことができる教育課程を構築していました（情報系との文理融合型の

学びを含む）。

特色ある本学のこれまでの取組みを紹介させていただくと、次のようにものを挙げることができます。（詳細については、経済学部ホームページの就業実践的問題解決力の育成を目指した授業を開講しています。）

- 「学生の主体的な学びを基礎とする教育システムの刷新－経済・経営系教育における白熱教室の創出－」プロジェクト

本プロジェクトは、目下大学教育の課題として注目されている、学習到達度を客観的に把握するための工夫改善を柱としたものです。文科省のプロジェクト支援の予算を得て実施してきました。

Web上での教材（映像を含む）提示や学生と教員の双方向の情報交換が可能なシステム＝SULMS（滋賀大学・学習管理システム）を整備し、それを活用した授業時間外の学習支援教材の配信、またそれを活用した授業経営の取組みを進めました。このようなシステムを活用した授業改革は他大学でも行われ始めています。その先頭グループの1校として評価されているところです。

○「就業力育成支援室」を中心とした問題解決実践型授業（PBL型授業の展開）

これまで本学部は、国立大学の社会科学系学士課程としては最大規模の学科構成と定員を有しており、そのことを活かして、経済学部としての専門性の基盤の上に、社会科学系の多様な分野を横断的・学際的に学ぶことができる教育課程を構築していました（情報系との文理融合型の

問題解決力、社会でのコミュニケーション力を有する人材の育成を目指し教育プロジェクトを進めています。「働き方探求プロジェクト」「社会人基礎力育成プロジェクト」

平成26年度から、グローバル人材育成コースとともに証券アナリストコースを新設しました。このコースでは、金融分野での専門人材育成を目指していますが、特徴的なことは、学習到達度の指標として、証券アナリスト試験という外部の資格試験を学習進捗度・到達度の客観的指

標として活用していることです。このコースに沿った教育プログラムは順調に成果をあげており、証券アナリスト試験への合格者数では大学としてはトップクラスの実績を早くも出していきます。

以上のような活動を含む本学の実績は、社会からも高く評価されています。入試面では、国立大学の経済学部の入学試験志願者動向でも継続的に上位の入試倍率を維持しており、東は静岡県から東海地方、そして滋賀県を経て、京阪神地域というベルト地帯（ちょうど日本史の教科書に出てきます織田信長が近江安土に拠点を置いた時期の勢力範囲の地図の地域と重なります。）から入学志願者を集めています。就職実績も国公私立大学の経済学部の中でも上位の就職率と就職先実績をあげています（本学のホームページの就職関係のページや『滋賀大経済最前線』のページをご覧ください）。特に、入学志願者を集めている東海から京阪神エリアにおけるビジネス・地域社会の人材育成に貢献してきた実績があります。

このように本学部は、これまで国立大学経済学部として担うべき十分な人材養成機能を果たしてきたと自己評価していますが、日本経済社会を取り巻く情勢の激動の中でさらにつきその機能を拡充していくために、次のような機能強化を実現する改革を進めいくこととしています。

○文理融合型人材教育のための教育

激しく変動する社会経済課題の解決力の育成のためには、従来型の学問分野縦割りの教育のみでは不十分となつておらず、理系科学的視点からアプローチと文系科学のそれを融合的に活用し問題解決に取組む力が求められています。本学においては、今後6年間の機能強化戦略として、新学部「データサイエンス学部」を軸として、取組みを進めていきます。経済学部においても、経済学・経営学・社会学分野の専門知識とデータサイエンスによる分析能力を併せ持つ人材の育成を目指したプログラムを創設します。

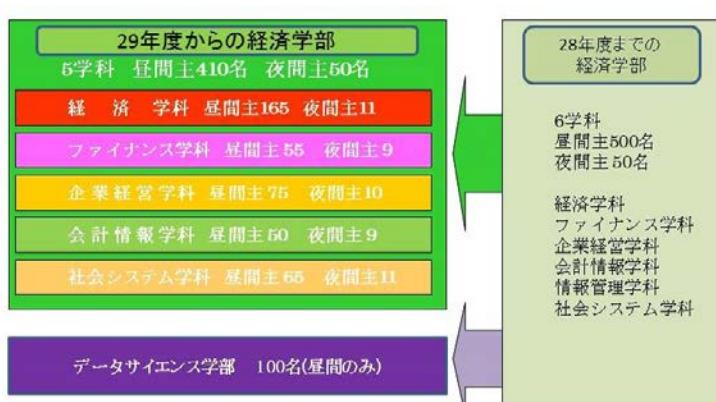
○グローバル化への対応と地域活性化に貢献する人材育成

グローバル化の進展の下で、国際的に展開する企業だけではなく地域経済社会もグローバル人材を必要としています。本学が立地する滋賀県にしましても、1人当たり製造業付加価値額や農業所得で日本上位の水準を誇っていますが、グローバル化の下での競争圧力により地域経済社会のリノベーションが求められています。また、本学部が入学者の出身「地域」、「滋賀県と東海・京阪神地域」における企業の海外進出意向は、滋賀県の全国トップをはじめ、東海・京阪神地域の企業も高い水準にあり、これら企業ニーズに応える人材の育成が極めて重要なととなっていきます。さらに、地域活性化の課題解

決の観点からも、観光による地域活

経済学部は、これまで学部共通の導入科目と専門基礎科目、そして学科専門科目の3層構造により教育課程を設定してきました。また、学科の学びを基礎としつつ学生の自主的な選択により他学科科目の履修を柔軟に認めることで、幅広い専門分野の学びを可能としました。あたえられた学習モデルではなくて、経済学部分野の幅広い専門知識を、学生が自分の社会でのキャリアをイメージしながら学科を越えて自由に学習し自己の力を高めていくことを促す仕組みをとつてきました。この方向性は維持しながら、学生が学修計画をつくる上での中となる部分についても、専門領域ごとに学習モデルを提示し、体系的な専門性の修得を促す仕組みを取り入れていくことを計画しています。この中の上に学科を越えた多様な科目の学習を進めてもらうことで、専門性と学際性を

共に身に付けた人材を養成していくべき
たいと考えています。
メディアでも取り上げられ始めて
いますように、国立大学を取り巻く
財政的な状況は厳しいものがあること
は否定できませんが、以上のように
な実績と今後の改革によつて国立大
学としての存立意義が評価される大
学として持続的に発展していくこと
を目指しています。後援会員の皆様
には、今後ともご理解ご支援をいた
だきますことをお願い申し上げま



学生活動

平成28年度滋賀大学学長賞授与式

6月4日(土)、経済学部大合併教室において、平成28年度(第21回)の授与式が行われました。

滋賀大学学長賞とは、①「極めて優秀な学業成績を挙げ、高い評価を受けた学生」、②「課外活動や、文化・社会活動などで特に顕著な成果・功績のあつた学生・団体」を表彰するもので、本年度で21回目の授賞式となりました。



受賞者の皆さん(左から藤井さん、金子君、位田学長、喜名理事、山本君)

賞が授与されました。いずれも滋賀大学の名誉を大いに高めた功績を認められました。

男子1500メートル
谷本貴久(経済学科4回生)
岡久 広(会計情報学科4回生)

授与式では、喜名副学長より選考結果の概要について説明があり、位田学長から受賞者に表彰状と楯、副賞として、①「滋賀県の女子旅プランコンテストに応募・入賞」、②「2016年度JUBF National Team選考会において4位入賞」が贈呈されました。

第53回西日本六大学陸上競技対校選手権大会を開催しました

8月20日(土)、大津市の皇子山総合運動公園陸上競技場において、滋賀大学陸上部が主管となって第53回西日本六大学陸上競技対校選手権大会が行われました。

本年度で第53回目の大会であり、本学、神戸大学、和歌山大学、大阪市立大学、兵庫県立大学(香川大学は不参加)の学生が参加しました。

当日は、位田学長の挨拶、選手宣誓の後、競技が開始され、夏の日差しが厳しいなか熱戦が繰り広げられました。

競技結果は次のとおり(優勝のみ)

男子1500メートル
谷本貴久(経済学科4回生)

男子3000メートル障害
岡久 広(会計情報学科4回生)

えられました。
各受賞団体等と受賞理由について
は以下のとおりです。(経済学部関係のみ)

ファイナンス学科 金子竜得

企業経営学科 若手起業家としての活動
藤井彩奈

学生による滋賀県の女子旅プランコンテストに応募・入賞
ウインドサーフィン部 山本春馬

2016年度 JUBF National Team選考会において4位入賞。

学生日本代表に選出



競技の様子

危機管理講習会を開催しました

8月8日(月) 体育館及びプール等において、体育会主催の危機管理講習会が開催されました。

本講習会は、課外活動における急救救命法及び非常時の対処知識を習得し、学生生活・団体運営の更なる向上を目的に毎年実施しているもので、約80名の学生が参加しました。

午前の講習会ではまず、傷病者を発見したときの現場での対応やAEDの使用方法などを学び、午後は衣服を着用したままプールに入り、海や川での水難事故の予防と救助方法を学びました。



水難事故救助の実践の様子



AED実践の様子

10時～11時(講義室)	心肺蘇生法とAEDについて
11時～12時(体育館)	心肺蘇生法実技講習
13時～15時(プール)	水難事故についての予防と救助方法
10時～11時(講義室)	心肺蘇生法とAEDについて

国際交流

留学体験記

◆交換留学

ノルウェー・ブスケルード・ベストフォールド大学（現サウスイーストノルウェー大学）
会計情報学科3回生 神内 萌那

留学先としてノルウェーを挙げる
と驚かれることが多いですが、まず
一つ目にクオータ制の発唱国である
こと、二つ目に英語が母国語でない
ことから私はノルウェーに留学したい
と思うようになりました。

ノルウェーでは1日中明るく涼しい
夏と、マイナス20度にもなる暗くて
厳しい冬を経験しました。
Buskerud and Vestfold Universityは小さな学校です。38人の留学生のうち日本人は私一人で、多くがフランスやオーストリアからの留学生でした。物価が高いので、ほとんど毎日自炊していました。日曜日は全ての店が閉まるので、週末にはホームパーティをしたり、友達とクラブに行ったりと暗い冬でも楽しく過ごすことができました。

留学の一番の目的は「語学力を伸ばすこと」でした。授業は4時間で、どの授業でもディスカッションがありますが初めのころは聞き取るのに精一杯でした。しかし、毎日予



クルージングディナーで
友人と一緒に

私がこの1年間を通して得たものは「自信」です。それは1年という期間、全く日本語を話さず英語だけで過ごしたということが大きいように思います。留学前に思っていた「現地に行つてしまえば話せるようになるだろう」という程には甘くない留学生活でしたが、たくさん悩んだ分成長できたと感じます。

もし皆さんの中にも少しでも留学に興味があるという方がいれば是非行くことをお勧めします。私もこの留学で得たものを無駄にしないよう、努力し続けたいと思います。

最後になりましたが、留学するにあたって支えてくださった全ての方に心より感謝いたします。有難うございました。

◆短期海外研修

メキシコ語学文化研修
(アナフアト大学・メキシコ)

標高約2000mの街・グアナファトは、とても魅力的な街で、力家

や教会、レストランなどの建物がラフルで可愛く、道は細く迷路のようにでした。日中は日差しが強いですし、街中が坂や階段ばかりで大変です。したが、ピピラ像のある山を登るとグアナファトの街を一望できます。深夜まで明るく、音楽隊も毎日のよう街中を練り歩いています。

今回の研修で私は、初めてメキシコに行きました。思ったようにコシコで生活して、新しい環境下での適応力を身につけることができたと思います。インターネットのない環境で隣町まで出かけたら、帰りに道に迷つてしまったり、市場で花束を買うなど、とても大変でした。

スペイン語の先生は、とても優しく陽気で質問にも丁寧に答えてくれました。文法に加え日常生活で使われる言葉も学び、それを生かしてホストファミリーと話すと、とても喜んでもらいました。スペイン語だけではなく、サルサダンスの授業もありました。慣れないリズムと動きに初めはまきました。ロボットのようでしたが、現地の学生も加わって踊ると上手にエスコートしてくれて楽しくなりました。

た。グアナファト大学の学生と一緒にご飯を食べに行ったり、ホームパーティを開いてくれたりとスペイン語と日本語を使って交流することができました。



アナフアト大学教員の家の
ホームパーティー

平成27年度の主な留学先

国名	大学名	留学生数
アメリカ合衆国	ミシガン州立大学連合	8(4)
オーストラリア	ディーキン大学	8(8)
メキシコ	アナフアト大学	7(6)
中国	東北財経大学	7(6)
韓国	啓明大学	2(2)
タイ	チェンマイ大学等	9(9)
ノルウェー	ブスケルード・ベストフォールド大学	1(0)
台湾	國立高雄大学	1(0)

*経済学部生を掲載、()は短期研修者数で内数。

ゼミナール紹介

教授吉田裕司

通常ゼミナール、略して「ゼミ」と呼んでいる授業は、「演習Ⅰ～Ⅳ」といった一連の4つの授業科目を意味し、これらの科目は、2回生の後半に各学生の選択希望に基づき、受講クラスが決定されます。3回生春学期から授業が始まり、以後継続して4回生秋学期までの4セメスター連続して履修することになります。

「ゼミ」では、各教員がクラスを受け持ち、2年間、同一のクラスで同一の教員が、担当の専門分野の学問的内容について受講生の学習、研究を指導することになります。

ゼミは少人数教育の授業科目ですが、クラスでの研究報告、発表を担当することで主体的な学力とプレゼン能力が養われます。また、クラス内の議論や共同研究、報告の準備作業、ゼミ生間の日常の交流などを通じて、論理面だけでなく総合的なコミュニケーション能力や人間関係を形成する力も培われます。それゆえ、ゼミは大学4年間の後半に配置されている主要な授業科目であり、専門教育としてだけでなく、ゼミ担当教員が学生生活や進路の相談、指導を行うことで、学生指導の面からも総合的に重要な役割を果たしています。

毎年10月末になると、2回生の学生からゼミについての問い合わせの連絡が来ます。生まれた時から携帯電話が身の回りにある世代のせいです。どうか、気軽に電子メールで連絡してきます。次年度の3回生から卒業するまでの2年間続くゼミを選択するためです。単なる情報集め程度の軽い気持ちの学生もいれば、とても熱心に積極的にゼミに入りたいことをアピールしてくる学生もあります。メールを受け取った後は、相互のスケジュール調整を行つて、個別に時間を取つて面談をします。

面談で学生が聞いてくるのは、「ゼミで学ぶ研究内容はもちらんのこと、それに加えて「学外での研究発表はありますか?」といつた内容が多いです。最初のころは学生の気持ちが分からず、どのように答えるのが良いのか戸惑つていましたが、どうやら彼らはそういうことに挑戦してみたいのです。ゼミナール担当教員としては、ゼミ学生に「こうしてほしい」「こんな学生になつてほしい」という気持ちはありますが、あえて学生の自主性を育てていきたいので、我慢して「そういうことはとてても良いことだから推奨するけど、ゼ

ミとしては何も強制することはないよ」と答えています。ただ、私は我慢が苦手なので、「先輩はみんなそういうことをしてきていますけどね」とついつい付け足してしまいます。

面談では「とても熱心にゼミでの勉強に全力を注ぎます」というような感じの学生が集まります。定員を上回る応募があった場合は、残念ですが何人かの学生には別の先生を選んでもらう選択をしてもらいます。しかし、毎年のことなんですが、3年次がはじまりしばらく経つと、気の抜けた発表を聞かされて「あれれ、あの時の面談の学生だよね」とだまされた気分につつまれます。

ただ、学生の方も「あれれ、先生、強制しないって言つてたよね」とゼミの時間外に勉強をしていかないといけないよう追い込まれていきます。面談での化かし合いはお互い様のようです。

大学教員にとって最も重要なことは、研究者であるかどうかだと私は考えています。研究とは、『新しい問題を自分で見つけて、（正解が用意されていない）答えを自分で見つけるプロセス』だと思います。研究成果は学術論文となり、学会などで他の研究者の前で報告をしたり、学術専門誌での発表を目指します。そのような場では、研究者達はお互の研究に関して積極的に意見を交換して、より優れた研究になるようになりを惜しみません。練習を怠るス



日本学生連盟関西ブロックゼミナール大会
「国際経済部門」で優勝を勝ち取りました

ポーツ選手が現役でいらなくなろう
ように、研究者も研究を続けていか
ないと現役ではいられなくなりま
す。

私のゼミ生（他の多くのゼミ生
も）は3回生の時は学外での研究発
表会、4回生の時には卒業論文に取
り組みますが、彼らにはしばしば私
は「研究者マジモード」になり、高
い要求をすることがあります。この
「研究者マジモード」とは、学会で

題を出すより、出来なそうにない課題を要求した方が、ゼミ生の成長は大きなものとなります。また、そこで初めて、正解が用意されていない答えを自分で見つけるプロセスの意味が理解できます。ここで身に着けた研究者としての力は、たとえ小さかつたとしても、どのような分野に進んだとしても、社会人になつてから彼らの基礎力になつてくれると言じています。

最後になりましたが、私の専門の研究分野は、国際金融・国際経済・ファイナンスという分野になります。ゼミ生が卒業論文などで近い研究テーマを選んでくれた時には、少しうれしい気持ちになります。

坂田ゼミナール

最後になりましたが、私の専門の研究分野は、国際金融・国際経済・ファイナンスという分野になります。ゼミ生が卒業論文などで近い研究テーマを選んでくれた時には、少しうれしい気持ちになります。

准教授 坂 田 雅 夫

国際経済ゼミ?

坂田ゼミは何をするところのか。担当教員である私の専門は国際経済法ですが、ゼミ案内では国際経済に関する様々な問題を取り上げることになっています。けれども4回生になつて取り組む卒業論文(卒論)は自由なテーマで書いて良いと言つていますので、毎年、果たしてこれが国際経済ゼミなのか悩むような様々なテーマと向き合つていま

す。このゼミが何をしているのか順番になります。

坂田ゼミは何をするところのか。担当教員である私の専門は国際経済法ですが、ゼミ案内では国際経済に関する様々な問題を取り上げることになっています。けれども4回生になつて取り組む卒業論文(卒論)は自由なテーマで書いて良いと言つていますので、毎年、果たしてこれが国際経済ゼミなのか悩むよう

なきます。このゼミが何をしているのか順番になります。



ゼミでの活発な議論の様子



の経営、U.S.J躍進の理由などなど、いろいろな報告がありました。毎年出来上がるまでには、どうなるかハラハラするのですが、本番で

を追つて説明いたしましよう。

3回生の春学期にあたる「専門演習Ⅰ」では、例年10回ぐらいをかけて世界貿易機関(WTO)の本を輪読するようになっています。世界貿易機関の基礎知識と、人前での報告方法の基本を身につけることを目標としています。一冊の本を読み終えた後、2・3回程時間が余ります。

春学期の最初の回では、ゼミ生に最後に何をやることを考えるよう

にと言っています。2・3の班に分かれても、何をやつても良いから、と言つておくと、毎年様々なことをやつてくれます。WTOや世界銀行の裁判所の判例を調べてきて報告する班もありますし、ニュース

(今年は環太平洋経済連携(TPP)やイギリスのEU離脱などでした。)を調べてきて報告する班もあります。また体育館を予約してきてバレーボールをすることもありましたし、3時間目にあるという利点を活かして大学外にランチに出かけたこともあります。何をすると言つてくるのか、毎年心密かに楽しみにしています。

4回生になる期はみんな就職活動に一所懸命と卒論作成に取りかかります。といつても春学期はみんな就職活動に一所懸命で、ゼミは開店休業状態へと突入します。内定

しに来る学生が多くいます。テーマだけでも考えておくようにと3回生の頃から言つてあるのですが、休み前にテーマが決まっている学生は多くはいません。これまでの傾向からすると自分が就職する企業や、その業界の問題を分析する論文が多いのですが、時々、ユニークなものにも出会います。かつて「プロ野球選手と結婚する方法」なるテーマでの相談を受けて卒論としてどうなうかやないかなど、頭を抱えたこともあります。けれども実際調べる過程の報告を聞き、書いてきたものを読みますと、過去のスポーツ新聞を調べられるだけ調べ上げ、プロ野球選手の結婚についての本当に面白い調査論文となりました。まさに学問に貴賤はなかつたわけです。

就職状況

ゼミ生がちゃんと就職してくれるかどうかは、担当教員にとって胃痛の種です。就職シーズンは心なしか抜け毛も増えている気もします。多くの学生は滋賀大の学生の伝統的就職先である、銀行へと就職していくます。それ以外にも保険やメークーと様々な企業名の報告を毎年受けます。これまでにはJTB、アイシン精機、日立、京都銀行、三井東京UFJ、十八銀行など、全部挙げることはできませんでしたが、実際に様々な企業へと旅立つていってくれました。

資格取得等報奨制度について

「滋賀大学経済学部後援会資格取得等報奨制度」は、平成26年10月に創設され、日頃の学生諸君の勉学等を支援し、資質の向上を目的とするもので、サポート対象基準を満たすことによりその功績を称え報奨金給付するものであります。

第3回目（平成28年2月～3月）については、下表のとおり、20件に対して給付されました。学生からはステップアップのための資金にしたいとの頼もしい声が聴かれ、今後も、多くの学生諸君から応募していただけます。ただけるよう願っています。また、学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の皆さまにおかれましても、ご保護されたいたい上での、お子様にお伝えください。なお、今年度からガイドラインの提示額を上限として予算の範囲内の運用をいたします。今後も、より良き制度に改善して行きたいと考えておりますので、会員の皆さまからも是非ともご意見等お寄せいただければ幸いです。

【問い合わせ】
滋賀大学経済学部総務係
TEL 0749-27-1030

平成28年度滋賀大学経済学部後援会資格取得等報奨制度給付一覧
(平成28年2月～平成28年3月末までの受理分)

分類	サポート対象事項	基準	報奨額	給付件数	給付者氏名（敬称略） ○数字は回生（申請時）
資格・認定試験	税理士試験	「簿記論」、「財務諸表論」 いずれかに合格	80,000		
		「消費税法」合格	50,000		
	公認会計士試験	短答式試験合格	100,000		
		1級合格	50,000		
	証券アナリスト試験	第1次レベル試験合格	30,000	2	入江将大（学部②） 石田冬也（学部②）
		第2次レベル試験合格	40,000		
語学試験	データベーススペシャリスト試験	合格	50,000		
	TOEIC（公開テスト）	800点以上	50,000	5	大脇由佳（学部④） 苅谷友里恵（学部④） 近藤崇志（学部④） 小島啓佑（学部④）他1名
留学	本学交換留学制度に基づく海外留学	アジア圏地域	40,000	6	清水裕介（学部④） 貝藤美和（学部②） 小倉早央里（学部③）他3名
		その他の地域	80,000	6	北川雄基（学部④） ONG YI XIAN（学部③） 中村直人（学部④）他3名
その他	第55回全国国公立大学卓球大会ダブルス第3位及び第22回海外遠征（ドイツ、ハンガリー）のメンバーに選抜		70,000	1	堀田詩織（学部③）

注) ① 給付者氏名については、氏名を公表することの承諾を得た学生の方のみ記載しています。

- ② 「資格・認定試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。ただし、税理士試験については、基準①、②のいずれか1回限りとする。
- ③ 「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また、試験言語を、母語とする者は申請できない。
- ④ 編入学試験又は帰国子女入試枠で学部に入学した者及び外国人留学生が、語学試験で申請する場合は、事前に問い合わせることとする。
- ⑤ 後援会費を入学年度の9月末日までに納入していない場合は対象としない。
- ⑥ 報奨額については、経済学部後援会役員会の議を経て調整することができる。
- ⑦ 本ガイドラインの改廃は、経済学部後援会役員会の議を経て決定する。

報奨金給付者の声

★

**資格取得等報奨制度により
今回給付となつた資格・試験**

『証券アナリスト試験』

『証券アナリスト試験』

『証券アナリスト試験』は、証券投資の分野において高度の専門知識と分析技術を応用し、各種情報の分析と投資価値の評価を行い、投資助言や投資管理サービスを提供するプロフェッショナルとしての認定を行うもので、第1次レベル（3科目）及び第2次レベル（4科目）の2段階選抜試験です。

『第55回全国国公立大学卓球大会及び第22回海外遠征』

『全国国公立大学卓球大会』は、昭和36年に第1回大会が行われ、男女団体、シングルス、ダブルスの種目で国公立大学チャンピオンを決める大会です。この大会での成績優秀者を対象に15名程度の選手団を編成して、主にヨーロッパを訪問し、現地クラブでの合同練習やオーブン戦に参加して新たな技術習得やレベルアップを図るとともに帰国後にその経験を伝えることで卓球技術の向上が図られています。

**『証券アナリスト試験
第一次レベル試験合格』**

経済学部経済学科3回生 石田 冬也

私は証券アナリスト研究会というサークルに所属し、昨年の十月に証券アナリスト一次試験、今年の六月に二次試験に合格しました。

研究会に入部し、証券アナリスト試験の合格を目指すことになったのは、入学時に顧問である楠田先生のオリエンテーションを受け、「就職活動にも有効な価値のある資格」と「組織的な支援体制」という点に魅力を感じたためです。

勉強を進めていく中で苦労したことは、数学的な知識や理解です。普通科の学生は習熟している内容について、私は殆ど修めていませんでしたが、研究会の先輩方にもご指導を頂くことで、必要な知識を身に着けることができました。



**『第55回全国国公立大学
卓球大会ダブルス第3位』及び
『第22回海外遠征メンバーに選抜』**

経済学部社会システム学科4回生 堀田 詩織

私は今年の3月に卓球のヨーロッパ遠征に行って参りました。昨年の全国国公立大学卓球大会で第3位という成績を残し、それに伴いこの度の海外遠征のメンバーに選出していただきました。全国各地から集まつた他大学の選手と共に、ハンガリーとドイツの2カ国のクラブチームを訪れ、トレーニングや練習に参加させていただきました。

非常にきついトレーニングや多球練習（多くの球を使って連続で打ち返す練習）もありましたが、練習メニューやアドバイス、自分で感じた

力を得て成り立っています。これからは、後に続く研究会員を教え、合格者を増やしていくことで、その御恩に報いたいと思います。



ハンガリーBVSCクラブでの合同練習
前列左から3人目堀田さん

教えることで、研究会の仲間と成績を上げていきました。証券アナリスト研究会はそうして英語で行われるという環境で、自分の思いを伝えたり、コーセーのアド

一方で、それまで学んだ簿記会計の知識が役に立つこともあります。試験の一分野である「企業分析」は簿記会計と関連が深く、苦手な分野を教わりながら得意な分野を

バイスを理解したりするのに苦労することもありましたが、卓球というスポーツを通して異文化交流することができたのは、非常に刺激的で、良い経験になりました。

約3年間の部活動を振り返ってみると、楽しい思い出と同じくらい苦しいこともありました。しかし逃げずに取り組んできたからこそ、試合で結果を残したり、このような素晴らしい機会を得たりすることができました。体育会に所属しているみなさんも、そうでない方も、今しかできないことに精一杯打ち込み、充実した大学生活を送つていって欲しいと思います。